



## グリップヒーター HG 取り付けについて

JKK2E530G1/G2

適合車種：CT125・ハンターカブ（JA55）

このたびは、本商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。  
ご使用前に、本書およびグリップヒーター本体の取扱説明書を必ずお読みいただき、  
いつも手元に置いて、正しい取扱方法により永くご愛用くださるようお願い申し上げます。



**警告** ※パッケージ、取扱説明書の注意事項や内容を無視してご使用し、重大な  
事故や損害が発生した場合でも弊社は賠償等の責は一切負いかねます。

### ●注意事項

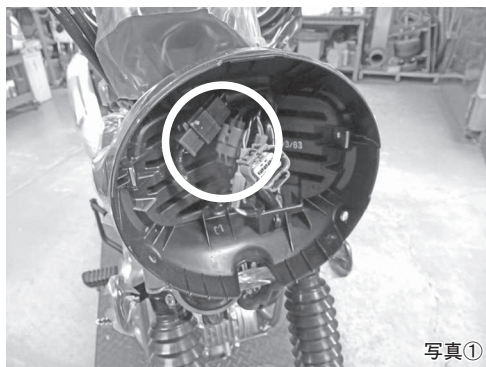
純正以外の社外電装部品との共用はできませんので、ご注意ください。

### ●接続する前に

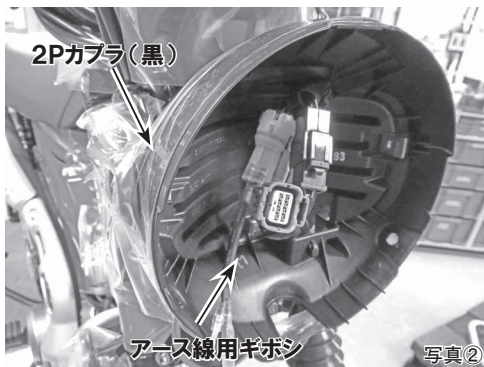
車両のサービスマニュアルを参考にしてヘッドライトを外しておきます。  
写真①を参考にして、防水ダミーカプラーが取り付けられているオプションカプラー2P（青）の  
位置を確認し、ダミーカプラーは外しておきます。

### ①配線の接続について

付属している電源用ハーネスを車両のオプションカプラー2P（青）に接続します。（写真②）

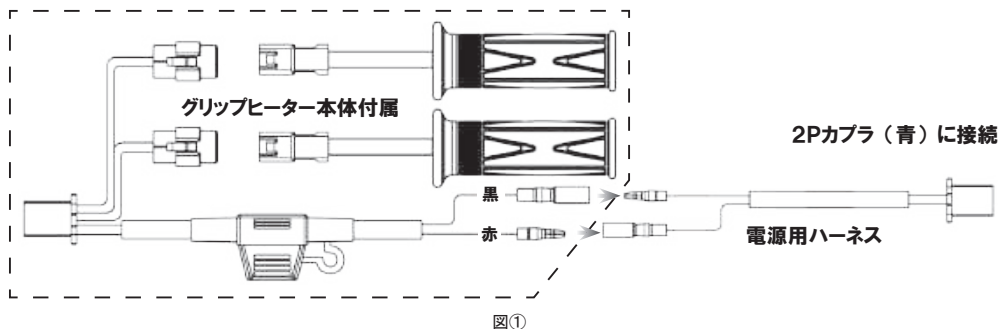


写真①



写真②

電源ハーネスを接続したら、左右グリップ、スイッチを仮接続してグリップヒーターの動作確認を  
しておきます。問題無く動作すれば、グリップとスイッチは一旦ハーネスから外しておきます。



### ②純正グリップの取り外し

左右それぞれの純正グリップを取り外します。純正グリップが付いていたところに付着している  
ボンドをパーツクリーナーなどできれいに取り除きます。

### ③スイッチ部の取り付け

＜HGの場合＞  
付属のステーをハンドルパイプに固定します。  
（写真③）  
→このとき、ボタン操作の邪魔にならない位置に  
クランプしてください。  
両面テープで制御スイッチを固定します。



写真③

＜SPの場合＞  
グリップヒーターを取り付ける前に、リングタイプ  
スイッチをハンドルパイプの左側グリップ部に  
差し込んで固定します。  
→このとき、車両の操作の邪魔にならない位置  
に固定してください。

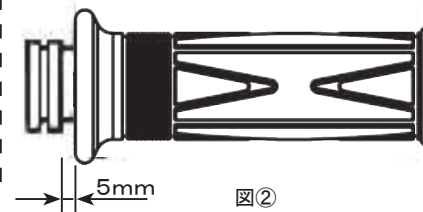
### ④左右グリップの取り付け（参考例）

グリップヒーターの配線位置を間違えないようにグリップヒーターを差し込みます。このとき、  
グリップが手で触って暖かいくらいまで仮組みで暖めておくと差し込みやすくなります。また、  
右グリップは図②のようにスロットルパイプとグリップ間が5MMくらいになるようにしてください。



**注意** 左右のグリップ共にグリップから出て  
いる配線の位置を確認してから取り付  
けてください。また、右側はスロッ  
トルを回した時に配線には絶対負荷が  
かからないようにしてください。グリ  
ップから配線が出ている部分は弱く、断  
線して破損してしまう恐れがあります。

《右グリップ》



図②

### ●注意●

グリップヒーターを取り付ける際に、グリップヒーターのエンドをハンマーで叩いたり、グリップを強く  
ねじったりしないでください。無理にグリップを押し込むと内部の熱線が断線してしまう恐れがあり  
ますので、絶対にしないでください。また、仮組みでグリップを暖める際に**1分以上**は暖めないで  
ください。（特に右側）。内部が変形してしまい、熱線が出てきてしまう恐れがあります。

※右側グリップはスロットルを全開、全閉にした時に、グリップから出ているケーブルに負荷がかから  
ないように取り付けてください。  
※必ず走行前にスロットルが正常に作動するかどうか手を離れた状態でスロットルが確実に全閉まで  
戻ることを確認、点検を行ってください。

#### ④配線のまとめ

それぞれの取り付けが終わったら、車両のハーネスやスロットルケーブルなどに沿わせながら、左右グリップ、スイッチの配線を通してグリップヒーターハーネスのカブラーに接続します。

配線の長さが余ってしまっている部分はタイラップなどでうまくまとめて固定します。

→ハンドルを左右に動かして、ハーネスに力がかかっていないか、ハンドル操作の邪魔になっていないか確認します。

また、接続部には配線テープなどを巻き付けて水が侵入しないように処理してください。



#### ⑤バーエンドの取り付け（SPのみ）

グリップヒーターの取り付けが終わったら、左側のバーエンドの取り付けになります。

左側のグリップヒーターは純正グリップ長に對して、SPスイッチの長さ分の約8mm長くなるのでバーエンドを固定する際に付属の専用スペーサーとワッシャーを入れてからバーエンドを付属のボルトで固定します。（写真⑦）



バーエンド（左側）

ワッシャーを入れる

#### ⑥取り付け完了

取り外したカウルなども元に戻す前に、イグニッションキーをONにして再度、グリップヒーターの動作確認をします。問題なく温まったら、カウルを元に戻して取り付け完了です。

また車両の灯火類が正常に動作するか、スロットル操作に引っかかりがないか確認してください。

##### ●構成部品●（HG）

- ・専用スロットルパイプ・・・1個
- ・電源ハーネス・・・1本
- ・取扱説明書

##### ●構成部品●（SP）

- ・専用スロットルパイプ・・・1個
- ・電源ハーネス・・・1本
- ・スペーサー・・・1個
- ・ワッシャー・・・1個
- ・ボルト・・・1本
- ・取扱説明書

・グリップヒーター（スイッチ）の使い方についてはグリップヒーターの取扱説明書を参照してください。

※デザイン及び仕様変更・価格等は予告なしに変更する場合がございます。

※弊社の取扱説明書等、十分ご確認の上ご使用ください。

※弊社商品以外の保証は一切お受けできませんのであらかじめご了承ください。

※本書やWEB上でのイラスト、写真等の記載内容が本商品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

有限会社エンデュランス 〒350-0822 埼玉県川越市山田1726 TEL 049-222-7770 FAX 049-226-1625  
endurance-parts.com

2020.11.12